



第6回 全日本社会人バスケットボール 選手権大会 関東ブロック予選

日時／2023年12月16日（土）～17日（日）会場／高崎市・高崎アリーナ

競技及び会場使用上の注意事項

2023 11 15

大会についてのお問合せ

大会に関するお問合せ先

○群馬県社会人バスケットボール連盟

理事長／塚越直樹

携帯：090-4746-9979

Eメール：tsukagoshi-19630425@hotmail.com

tsukagoshi3889@city.takasaki.gunma.jp

**日中は電話に出られない場合があります。
お問合せはできるだけメールでお願いします。**

大会期間中の緊急対応

○群馬県社会人バスケットボール連盟・理事長／塚越直樹

携帯：090-4746-9979

○群馬県社会人バスケットボール連盟・競技委員長／湯浅康文

携帯：090-4068-6507

大会会場について

高崎アリーナ



所在地： 〒370-0846 群馬県高崎市下和田町4丁目

電話： 027-329-5447

公式サイト： <https://www.takasaki-foundation.or.jp/arena/index.php>

アクセス・駐車場について

公共交通機関でお越しのお客様へ

詳しくは公式サイトご確認ください。 (http://www.takasaki-foundation.or.jp/arena/access_index.php)



J R/バスをご利用の場合

J R高崎線、上信電鉄をご利用の場合：「J R高崎駅」より徒歩約8分

バス※をご利用の場合：「高崎駅西口」高崎アリーナシャトルのりば乗車、「高崎アリーナ」下車

※2017年4月1日よりシャトルバスが運行されます。

※運行経路は 高崎駅西口 ~ 高崎アリーナ ~ 新後閑町 ~ 城南野球場 ~ 宗真寺前 ~ 和田町 ~ 南町十字路 ~ あら町 ~ 高崎駅西口 です。

※8時始発、21時30分終発です (15分おきの運行です)。

※料金は100円です。

車/バイクでお越しのお客様へ



車/バイクをご利用の場合

1 高崎アリーナ地下駐車場

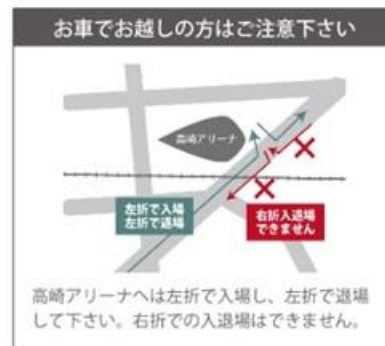
台数 200台

開閉時間 7:30から22:30

高さ制限 2.3m

駐車料金 最初の1時間まで30分ごとに160円
以降30分増すごとに150円
(高崎アリーナの利用者は1時間無料、その後30分ごとに80円)

※高崎アリーナをご利用の方は必ず、高崎アリーナの受付に
駐車券をお持ちください。

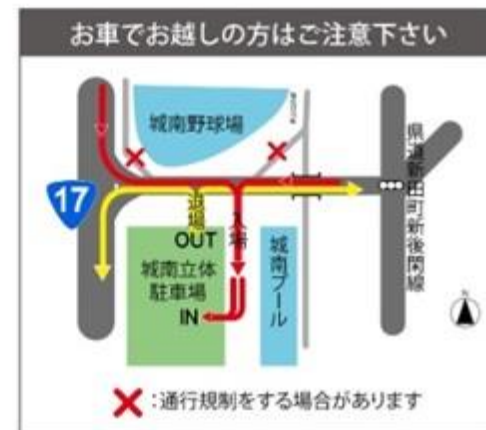


アクセス・駐車場について

車／バイクでお越しのお客様へ

2 城南立体駐車場

台数	500台
開閉時間	7:30から22:30
高さ制限	2.1m
駐車料金	無料



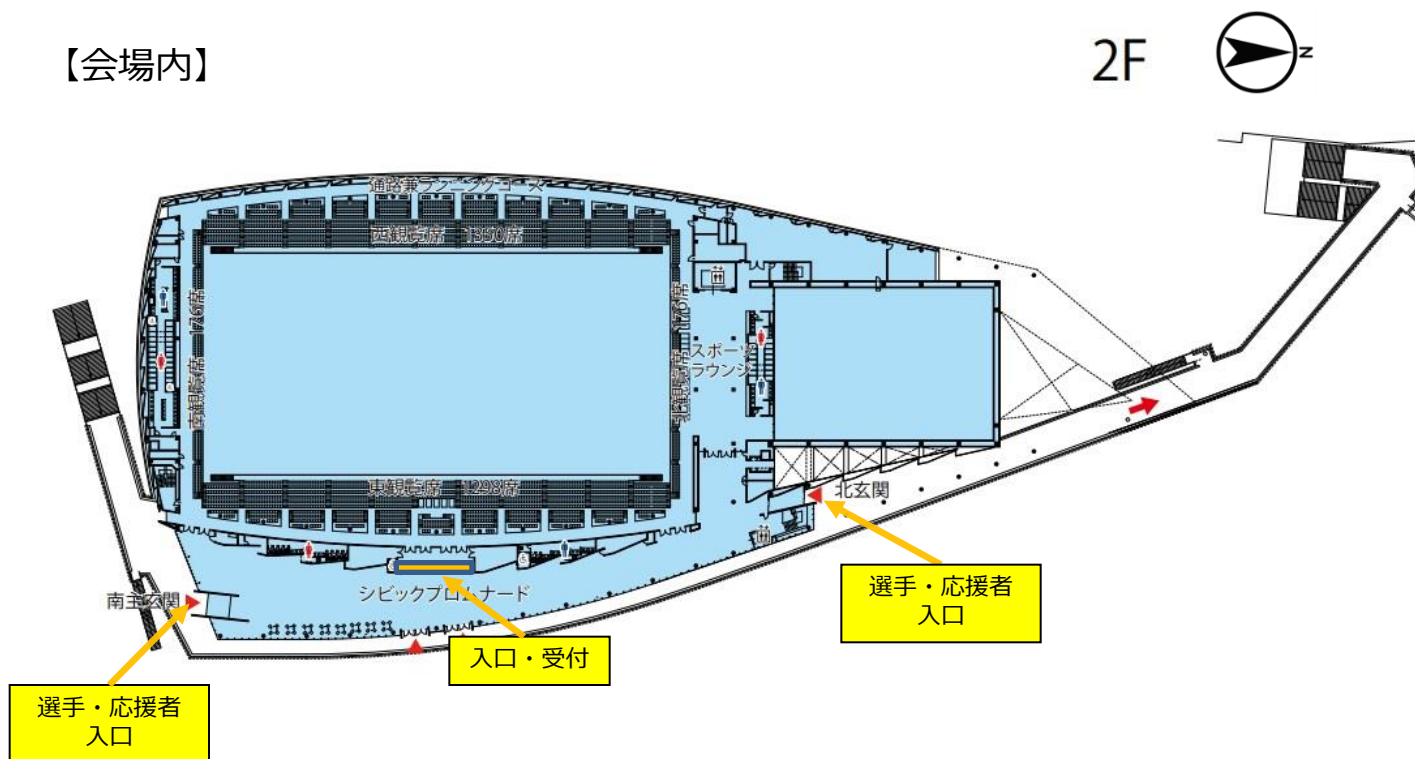
大型バス・マイクロバスの来場の方

マイクロバスをご利用の方は11月30日までtsukagoshi3889@city.takasaki.gunma.jpまでご連絡ください。
マイクロバスの駐車場には限りがあります。

会場図

会場図／2F

会場の出入口は2Fになります。

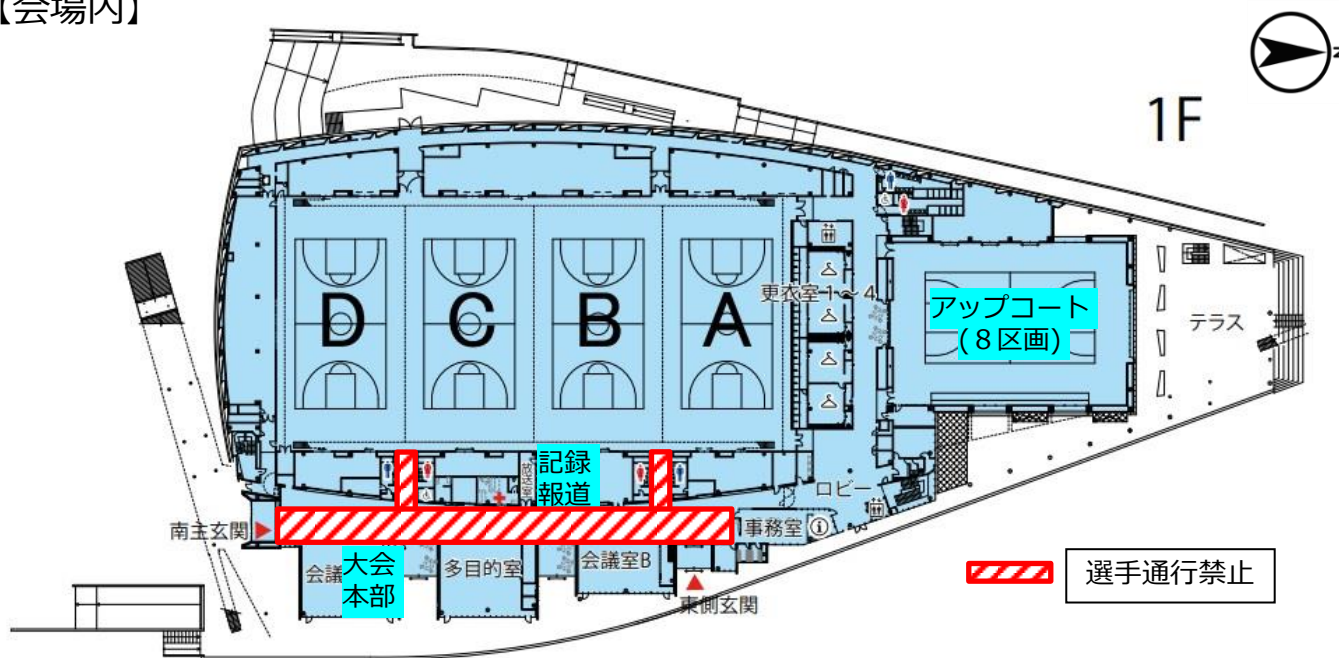


- ・フロアは土足禁止です。上履きと下履きの区別をしっかりとすること。
- ・競技中の水分補給以外の飲食は禁止です。

会場図

会場図／1F

【会場内】



- ◆アップコート
ボールの使用(ドリブルやパスなどを含む)は禁止です。
飲食についても禁止です。
- ◆コート出入り
コートへの出入りについては、2階待機場所から直接フロアに降りられます。
必ず、室内用シューズに履き替えるようにお願いします。

チーム受付について

チーム受付は試合開始60分前までに、毎日必ず行ってください。

受付

- 高崎アリーナの開場時間は2日間共に8：00です。
選手の方は2F北口・南入口より入場して下さい。
また、チーム代表者はチーム受付にて受付を行って下さい。（2日間共に）
- 初日受付時にパンフレットを**2冊**お渡ししますので、受付にて受け取りください。

会場使用上の注意事項

**スタッフ・選手は試合時以外はフロアへ入ることは出来ません。
チーム応援者はフロアに入ることはできません。**

- フロア内は土足禁止です。フロア専用シューズを着用して下さい。（スリッパ厳禁）
- 前の試合のハーフタイムで練習する時は、前の試合の第2クォーターが残り2分を切ってからフロアにお入り下さい。3分前の合図があるまで、練習することが出来ます。
- 次試合のチームの方は、前試合の残り時間が2分を切ってからフロアにお入り下さい。尚、ベンチ以外でフロアにあるイスは大会役員用ですので、使用できません。
- サブアリーナは次試合チームのアップ会場となりますが、ボールを使用してのアップは出来ません。各チーム指定の場所でストレッチ等にご使用下さい。また、飲食は禁止です。
- 更衣は選手専用の更衣室で行って下さい。ベンチや観覧席での更衣はご遠慮下さい。
- フロア内は飲食禁止です。但し、競技中の水分補給は認めます。
- 施設内のコンセント（電源）は使用禁止です。
- 施設内は全面禁煙です。喫煙は必ず外履きに履き替えて屋外喫煙所をお願いします。
- ごみは各自持ち帰り又は指定の場所に分別して廃棄して下さい。また、ペットボトルの中身は必ず捨ててから廃棄して下さい。
- 大会期間中の館内及び駐車場での事故や怪我につきましては、各自の責任で対応して下さい。主催者としては責任は一切負いません。

大会注意事項

- 競技は現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則に従って行います。
- 試合開始時刻は定刻とします。但し、定刻より遅れた場合は10分間のインターバルをおきます。
- ベンチは組み合わせ番号の小さいチームがオフィシャル席に向かって右側とします。
- ユニフォームは原則として組み合わせ番号の小さいチームが淡色（白）とします。
但し、2回戦からは当該チーム間で話し合いの上、濃淡の交換を認めます。
その場合は試合開始30分前迄に大会本部に両チームで申し出を行って承認を得てください。
その場合ベンチの交換はいたしません。
- 会場には濃淡2色のユニフォームを持参して下さい。
また、現行の「JBAユニフォーム規程」併せて「プレイヤーが競技中に身につける物」を必ず厳守して下さい。
- ベンチにはゲームエントリーされた「競技者」及び「登録されたスタッフ」以外の者は入れません。
ベンチエリアに入れる人数は、①ゲームエントリー選手 16名（外国登録無制限）、
②ヘッドコーチ+ファーストアシスタントコーチ+他4名のスタッフ 6名 1チーム合計22名（①+②）とする。
- トレーナー及びチームドクターは、ベンチの延長線上に席を設けますのでそこで待機して下さい。
- コーチは試合中、JBAコーチ証を常に見えるように身につけて下さい。
- 選手は競技者登録証をご持参下さい。提示をお願いする場合があります。
- 試合終了後のスコアシートは、記録報道室前（フロア東側、BコートとCコートの間）から各チームお持ち下さい。
次試合のハーフタイム以降に受け取れるように準備します。
- 危険防止の為、ベンチエリア内及びフロアでのビデオ・写真撮影は禁止いたします。フラッシュ撮影も禁止です。
- 練習球は各チームで用意して下さい。
- 貴重品・手荷物等は各チームの責任で保管して下さい。
- 第6回全日本社会人バスケットボール選手権大会への関東ブロックからの推薦枠は男子6チーム・女子7チームです。
男女とも優勝チームに準決勝で敗れたチームを第3位、2回戦で敗れたチームを第5位、
準優勝チームに準決勝で敗れたチームを第4位、2回戦で敗れたチームを第6位
女子7位は3位チームに2回戦で敗れたチームを推薦します。
- 会場の施設、物品等の破損については十分注意してください。万一、破損した場合は各自、各チームの全負担となります。

コーチライセンスについて

試合前のスコアへのサインについて

大会時のコーチライセンス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしく申し上げます。

- ① **試合開始7分前**までにスコアシートにスタート確認とサインを行ってください。
- ②スコアシートにサイン出来るのはパンフレットに「**ヘッドコーチ**」登録された方のみです。
- ③ **サイン時にJBA公認コーチ証をスコアラーに掲示**してください。
- ④コーチは試合中、JBA公認コーチ証を見える様に首から提げて下さい。

ヘッドコーチとは

- 試合中実際に指揮を執る者
- 各大会で定められたJBA公認ライセンスを有すること
- 試合前にスコアシートにサインする者
 - ※監督、部長、ファーストアシスタントコーチ、アシスタントコーチはスコアシートにサインできません。
- 大会パンフレットのヘッドコーチ名と上記は同一人物になるように大会の申込みをすること

ヘッドコーチがJBA公認コーチ証を忘れた場合はTeam-JBAのモバイル証をTOで掲示する事

コーチライセンスについて

ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチについて

- ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチは必ず試合中はベンチにいななければならない。
- 私的な理由でエントリーの変更はできない。

ヘッドコーチとは

- 試合中実際に指揮を執る者
- 各大会で定められたJBA公認ライセンスを有すること
- 一大会を通じて試合前にスコアシートにサインする者
 - ※ライセンスがあっても監督、部長、ファーストアシスタントコーチ、アシスタントコーチはスコアシートにサインできません。
- 大会パンフレットのヘッドコーチ名と上記は同一人物になるように大会の申込みをすること

コーチライセンス登録証について

- ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチはJBA公認コーチ証を大会には必ず持参すること
- ヘッドコーチは試合中、JBA公認コーチ証を首からぶら下げ、つねに見える状態にすること
- 試合前にスコアシートにサインする際はJBA公認コーチ証をスコアラーに掲示すること

ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチが選手として試合出場する場合は

- ヘッドコーチが選手として出場している時間はファーストアシスタントコーチがコーチの任務と権限を引き継ぐ。
 - ※2023競技規則 第7条7
- ヘッドコーチが試合に出場している時間は選手として扱われる。
 - ※ヘッドコーチ兼選手が選手として出場中にテクニカルファウルが宣された時は選手のテクニカルファウルとして扱われ、審判が交代選手を招き入れた後にヘッドコーチ兼選手がテクニカルファウルを宣された時はヘッドコーチのテクニカルファウルとして扱われる。
- ファーストアシスタントコーチも選手として出場している時間はベンチに残っている者がタイムアウトをTOへ請求できる。
 - ※JSBのみ特別ルール

コーチライセンス運用の規程

試合初戦前のヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの変更について

- 登録したヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチがやむを得ない事情で遅刻する場合は試合開始30分前までに大会本部に連絡する事
※大会本部がやむを得ない事情と認められる時は一時的コーチ不在を認める
- 登録したヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチがやむを得ない事情で変更する場合は試合開始30分前までに大会本部に連絡する事
※大会本部がやむを得ない事情と認められる時はヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチ変更を認めます。その際は後日、証明する書類をJSBに提出してください
- 上記理由で変更を認める場合、チーム内に各大会で定められたJBA公認ライセンス有すること。

大会期間中のヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチについて

- 登録したヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチは大会を通じて帯同して指揮をとらなければならない。大会途中での変更はできません。
- 登録したヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチを変更する場合、大会本部がやむを得ない事情と認められる時は変更を認める。

退場処分によるペナルティ

- ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチが退場処分によるペナルティでベンチ入りができない場合は
 - ①ヘッドコーチがベンチ入りできない場合はファーストアシスタントコーチが代行する
 - ②ファーストアシスタントコーチがベンチ入りできない場合はキャプテンが代行する。その際のコーチライセンス有資格者が無い方も代行できます。

○やむを得ない事情とは

病気や家庭の事情（ご不幸等）、公共交通機関の遅れ等です。

大会本部がやむを得ない事情を判断したときは、後日JSBへ事情を証明するものを、各都道府県の社会人連盟の承認（印章あり）した書類を送付すること。

仕事や他の大会、個人的理由などの私的な理由での変更は認められません。仕事などでヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチが来れない可能性がある場合は確実に来れる方を当初より登録してください。

コーチライセンス運用の規程

試合開始時にヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの特段の理由が無くどちらかが不在となった場合

○没収ゲームとする

2チーム以上のヘッドコーチの登録は認めない

○ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの2チーム以上での同一人物による登録は認めない。

○JSB選手権（男女）、OA40・50全国大会（男女）、JSB選手権ブロック大会（男女）、OA40・50ブロック大会（男女）でのヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの2チーム以上での同一人物による登録は認めない。

ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの代行について

ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチが特段の理由が無く不在になった場合に
チームスタッフや選手で指定されたJBA公認コーチライセンスを持った方が代行できる

- 代行に関しては不在の理由は問わない。
- 例>ヘッドコーチ（JBA C級）が「仕事で来られない」→選手でJBA C級を持った方が代行できる。
- 指定されたJBA公認コーチライセンスを持った人がいないときは代行はできない。
- 代行においてヘッドコーチとファーストアシスタントコーチの兼任は認めない。
- ヘッドコーチが不在でファーストアシスタントコーチが指定されたJBA公認コーチライセンスを持っていればファーストアシスタントコーチがヘッドコーチの代行を認める。その際は新たにJBA公認コーチライセンス保持したファーストアシスタントコーチを代行する人を登録する事。
- やむを得ない事情での変更はコーチライセンス規定に沿って変更を認める
- 代行の際の「**事情を証明する書類**」はJSBに提出する必要はありません。

やむを得ない事情でヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの変更を認める場合

● 病気・コロナや家庭の事情（ご不幸等）、公共交通機関の遅れ等で大会本部がやむを得ない事情と判断したときは、JSBコーチライセンス規定に沿って対応してください。

■ JBA公認コーチ資格保持者が不在となった場合の対応について

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_info01_20170401.pdf

■ 大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会参加チーム→大会主催者）

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report1.pdf

エントリー変更について

- 3日前までのエントリー変更を認めているので、事前に「仕事などで」来られないときわかっているときはエントリー変更で対応する。

試合開始時間

試合開始時間にエントリーされた選手が5人、またはヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチが揃わなかった時は

- 試合開始時間より15分待ちます。
- 15分待ち、トスアップできない場合は没収ゲームとします。

試合開始時間は定刻です。

- 試合が遅れている場合は前試合が終わって、次のチームのフロア入場後、10分間のインターバルを計ります。

ユニフォームについて-1

JBAユニフォーム規則違反は没収ゲーム

JBAユニフォーム規則に準ずる。

- JBAユニフォーム規則違反は没収ゲームとする。
- JBAユニフォーム規則 第 20 条に記載のある〔移行期間〕は終了。

リバーシブルユニフォームを濃淡2着で大会エントリー可能

JBAの競技規則では

「4-3-3 各チームは、ユニフォームを2セット以上用意しておかなければならない」となっているので、リバーシブルのユニフォーム1着は不可となり、リバーシブルを濃淡2着用意した場合は大会エントリーが認められます。



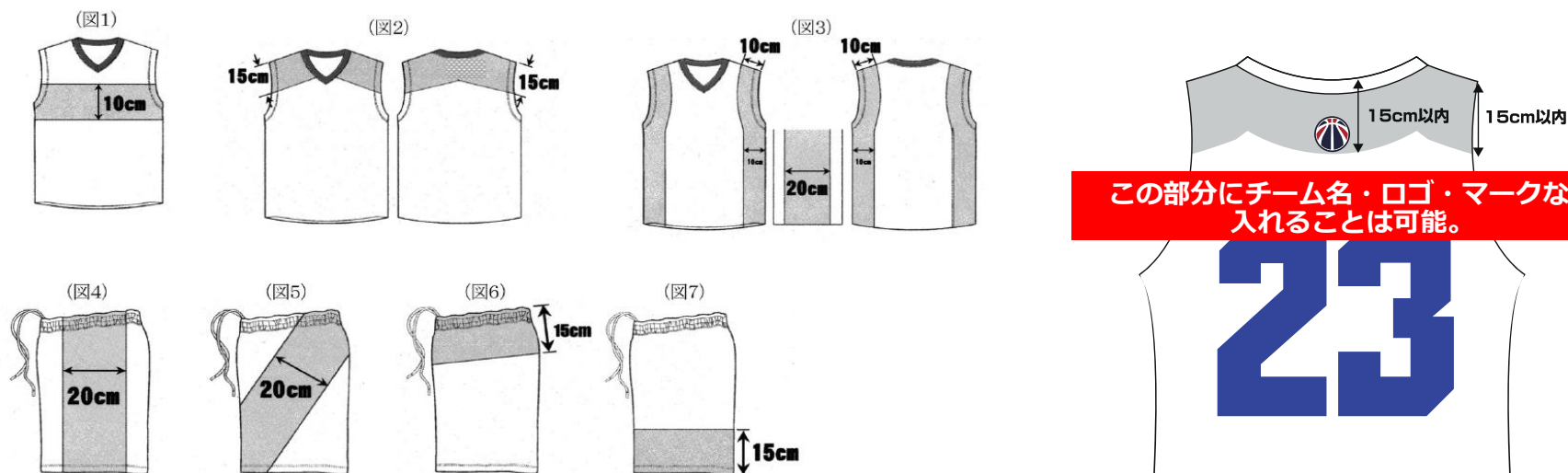
カテゴリ	通常のユニフォーム	リバーシブルユニフォーム
地域リーグ	○	△ (濃淡2着)
オープン	○	△ (濃淡2着)
オーバーエイジ	○	△ (濃淡2着)
フレンドリー	○	○

ユニフォームについて-2

ユニフォーム規定の切り返しの部分の関してのデザインは自由で制限がありません。

■ JBAからの回答

切り返しの部分にロゴやマークを入れることも可能。またパンツに関しては切り返しの部分に番号を入れることも可能。



折り返しの部分でも「広告」に関してはJSBの広告規定に準ずる。

ユニフォームの広告について

ユニフォームにスポンサー等を広告として表示する場合
 指定の「**広告提出申請書**」を大会専用アドレス (public@JSB-basketball.or.jp) に
 ユニフォーム写真を添えて〇〇月〇〇日までに送付し許可を得ること。
 許可がないユニフォームを使用した際は没収ゲームします。

広告の場所・大きさ



JSB ユニフォーム広告申請書

記入日: 年 月 日

所属団体名	チーム名	所属種別	選手・選手	チームID
申請者 (氏名)		所属番号	0444	

注意事項

1. 掲載料・著作権・ロゴ・広告のすべてが本人のユニフォームの権利を制すること。(写真でも可です)
2. ユニフォームデザインは任意の範囲内のデザインを制すること。
3. ユニフォームデザインは任意の範囲内のデザインを使用すること。
4. 権利と肖像のユニフォームの権利と制のゲームを制すること。

以下のユニフォームの広告掲載について申請します。

表示する場所	広告名	広告の掲載期間	サイズ	広告の掲載期間
シャツ	前面			年 月 日 時 分 年 月 日
	背面			年 月 日 時 分 年 月 日
	袖部			年 月 日 時 分 年 月 日
パンツ	前面			年 月 日 時 分 年 月 日
	背面			年 月 日 時 分 年 月 日
	裾部			年 月 日 時 分 年 月 日

※掲載する広告の詳細 (デザイン画または写真) を、本用紙と合わせて別途添付し提出をすること。

プレイヤーが競技中に身につけられるものについて-1

プレイヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

マウスガード(無色透明)

ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それはみ出したということにはなりませんので、他の身につけるものと同色か揃っていないものを着用していても、注意することはありません。

色の指定なし

チームで色を揃える必要があるもの

- 胸のコンプレッションスリーブ
- 脚のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア
- リストバンド
- ヘアバンド
- サポーター類
- ヘアバンド
- 手甲

チームで色を揃える必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 膝の装具(※1)
- 足首の装具(※1)
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター
- テーピング
- マスク

※1. 装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具員のごときで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

ソックスは上記と色を揃える必要無いです。選手全員で色を揃えること。例>ソックスは白、ロングタイツは黒でもOKです。

チームで色を揃える必要があるもの

○胸のコンプレッションスリーブ



○脚のコンプレッションスリーブ(パワータイツ)



○ヘッドバンド



○ヘッドギア



○ヘアバンド



○手甲



○リストバンド



○肩のサポーター



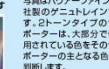
○膝のサポーター



黒色のサポーターとみなします



白色のサポーターとみなします



写真はJ(ウーアフインド)社製のゲニユトレインです。2トーンタイプのサポーターは、大部分で使用されている色をそのサポーターの主となる色と判断します。

○足首のサポーター



○指、手および手首のサポーター



○腕・肘のサポーター



着用例

- OK** ① 胸のコンプレッションスリーブ(黒)+ヘッドギア(黒)
- NG** ② 脚のコンプレッションスリーブ(黒)+膝のサポーター(白)
⇒脚のコンプレッションスリーブとサポーター類は、色を揃える必要があるものです。
- OK** ③ リストバンド(白)+ヘアバンド(白)+膝の装具(黒)
⇒膝の装具は、リストバンドとヘアバンドと色を揃える必要がないものです。

装具について

装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことです。病院で診察を受け、医師の処方(診断書)のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

装具の使用の際は事前に大会本部に診断書などをご提出し使用許可を得てください

○膝の装具



○足首の装具



○眼鏡



○鼻のプロテクター



プレイヤーが競技中に身につけられないものについて

○ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの



○スカーフスタイルのヘアバンド



着用できます。

○無色透明以外のマウスピース



○点滅するライト、反射素材やその他装飾物が付いたシューズ



○ヘルメット



(メーカーロゴ、番号名が入っているものも着用不可)

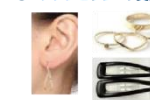
○商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるもの



○柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具



○ヘアアクセサリや貴金属類



- 固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくられて5いるもの
- 他のプレイヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの(爪は短く切っておくこと)

プレイヤーが競技中に身につけられるものについて-2

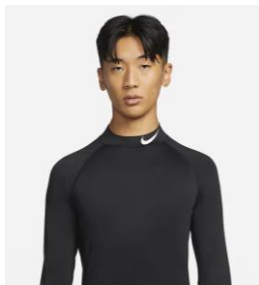
半袖シャツや長袖シャツの着用を認める

- 半袖シャツや長袖シャツのチーム内での混用着用も認める。色はチーム内にて統一とすること。
- 身体のシルエットが分かるコンプレッション系ウェアのみ着用ができます。シルエットわからないシャツや袖元が開いたシャツは着用できません。
- タイツと色を揃えてください。例> シャツが黒ならタイツも黒を着用
- シャツに柄や模様が入ったものは着用できません。全体として単色と認定できるものは着用を認めます。
- シャツに襟裳のライン・腕などのラインに同系色では無い色がついたものは着用できません。
- シャツにメーカーのロゴが入ったものは着用できます。色や大きさなどに制限はありません。

使用できるシャツ



ハイネック



ロゴが入っている



模様があるが
単色と認定できる



模様がある。単色ではない。



ラインに同系色では
無い色がついてる



コンプレッション系の
ウェアではない

JSBでは入れ墨・タトゥーに制限はありませんのでそのための対応ではありません

装具について（プレイヤーが競技中に身につけられるもの） ※確認事項

装具の使用の際は大会本部へ診断書等を提示してください。

装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことです。

病院で診察を受け、医師の処方（診断書）のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

大会本部での対応について

下記の確認を行ってください

- 医師の処方（診断書）
- 競技中に相手選手にケガを迫わせる可能性が無いか確認。

診断書の提出が無い場合は使用することができません。

- 診断書等の提示が無い場合で選手の装具が「医療機器」の場合は大会本部の判断で出場する事ができる。

※医療機器とは一般医療機器番号などが装具に掲載されていること。

<https://www.pmda.go.jp/safety/consultation-for-patients/on-devices/qa/0022.html>

高校生・専門学校・大学生の選手権の移籍による出場について

移籍によるのチャンピオン・選手権大会の出場(県予選・ブロック予選も含む)については
下記の大会にエントリーしていない場合は「移籍」による出場を認める。

●高校生

- 高校総体(県大会・ブロック大会)
- ウインターカップ(県大会・ブロック大会)
- U18リーグ戦(ブロック大会・全国大会)

●大学生

- インカレ
- リーグ戦

●専門学校

- 全国大会(県大会・ブロック大会)

エントリーとは

- エントリーに関しては下記とします。試合に出場した有無は関係ありません。
- ゲームエントリーされる。
- パンフレットに名前が掲載される。(予備・補欠登録含む)

TF・UFによる失格・退場について

罰則

第36条（テクニカルファウル） ・ 第37条（アンスポーツマンライクファウル） ・ 第38条（ディスクォリファイングファウル） ・ 第39条（ファイティング） により失格・退場なった者は**次の1試合**に出場することはできない。

- 規則により失格・退場処分を受けた当該者は、ゲームが終わるまで建物から立ち去るらなければならない。
- 出場できない期間中はフロアへの立ち入りを禁止します。（試合前のフロアでのアップの補助なども禁止）
- 観客席からの観戦は可能ですが、指示やアドバイスは一切禁止とします。
- 上記を厳守できない場合はさらにさらに**1試合の出場**ができません。
- ヘッドコーチが失格・退場処分を受けた場合はファーストアシスタントコーチが指揮をとる。その際のJBA公認コーチの資格種類の有無は問わない

自チームの試合撮影について

①自チームの試合撮影

チームのスカウンティングのために観客席（フロアでの撮影は認めない）よりビデオを撮影する場合は許可します。その際は試合当日受付にて「自チームの試合のための撮影」の旨を伝え、撮影許可ADを受け取ってください。

事前の取材・撮影申請は必要ありません。当日申請をしてください。【撮影許可ADは各チーム2枚迄とします】

撮影はチームによる有人撮影を基本としますが、已む得ず無人撮影を行う場合は撮影許可ADカードを機材に表示し撮影者個人・チームの責任で行う事。機材の盗難・破損等については主催者は一切責任を負いません。

併せて、他の観覧者の迷惑にならない様に配慮をお願いします。

また撮影は自チームの試合のみになります。他のチームの撮影はできませんので予めご了承ください。尚、撮影許可ADは退館時に必ず受付に返却して下さい。

【重要】

会場によっては観客席で撮影できない場合があります。その際は撮影をお断りする場合がありますので予めご了承ください。

動画の扱いについて

①90秒以内の動画に関しては制限（SNS含む）はありません。

試合中90秒以内の動画撮影はチームおよび選手・観客が各チーム及び個人での利用を目的とした場合に限り可能です。

JSBの許可も必要ありません。

また、営利目的によるSNS等の動画公開はいかなる理由でも禁止です。

写真の扱いについて

①写真に関しては制限（SNS含む）はありません。

試合中写真撮影はチームおよび選手・観客が各チーム及び個人での利用（SNSを含む）を目的とした場合に限り可能です。

各チーム及び個人での利用以外のメディア掲載や商用利用を目的とした写真撮影・動画撮影については、JSBの許可が必要です。

自チームで撮影した分をチームの広報などに使用する際はJSBの許可は必要ありません。

※ JSBの許可は必要ありませんが情報の管理、および広く告知するためにJSBに報告頂けると助かります。

public@jsb-basketball.or.jpまでメールをお願いします。

例> TBSの23時からのニュースのスポーツコーナーに出演予定など

個人情報及び肖像権等の取り扱いに関して

- 本大会における権益は、テレビ・ラジオ等放映権、スポンサー等に関する権利・義務および選手肖像権等、全てJSBに帰属する。運用においては、別途JSBが定める運営マニュアルに沿って行うこととする。チームは、主管者に定められている権益を行使する場合は事前にJSBへ申請し、承認を得ること。
- 提出書類に記載されたデータ（画像データ含む）は、主催者が大会運営のため大会パンフレットや大会公式サイトなどに使用するほか、大会報道を目的として報道機関に提供することがある。その他、個人情報および肖像権の取り扱いについては別途定める。

大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いについてはJSBの規定に準ずる